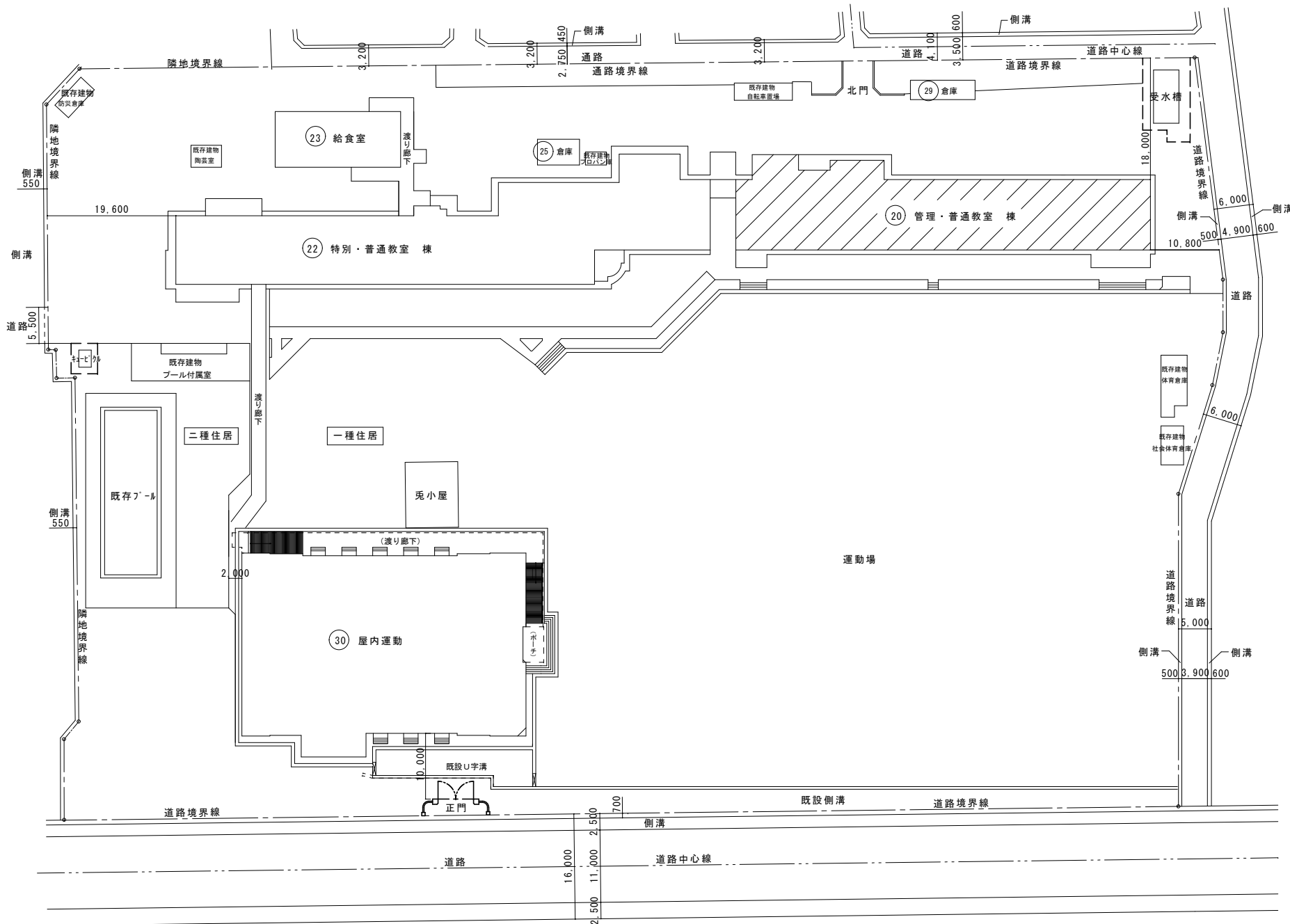



# 東小学校校舎トイレリニューアルⅠ期（機械設備）工事

番号	図面名	番号	図面名
M-00	図面リスト		
M-01	案内図・配置図		
M-02	特記仕様書（１）		
M-03	特記仕様書（２）・凡例		
M-04	器具表・機器表		
M-05	系統図		
M-06	1、2階平面・仮設計画図		
M-07	3階平面・仮設計画図		
M-08	既存・改修1階便所平面詳細図		
M-09	既存・改修2・3階便所平面詳細図		
M-10	工事区分表		

甲 府 市



凡 例

 : 对象建物



					縮 尺		M-01 No.
					1/800、1/Free	工 事 名 称 東小学校校舎トイレリニューアルⅠ期(機械設備)工事	
					設計年月日	図 面 名 称 案内図・配置図	

[illegible]

F特記事項	32 排水勾配は屋内1／50、屋外1／100を標準とする。		
	33 本図中に無い既設配管及び設備に於いては、支障無きよう接続又は布設替えを行うこと。		
	34 天井内の弁類、通気弁、F J、F D等取付箇所には必要に応じて点検口を設置すること。（建築工事）		
	35 通気口離隔距離は、最上階建物部より有効600mm以上、水平離隔距離3000mm以上とすること。		
	36 床上掃除口はツバ付化粧型V P用とする。		
	37 衛生器具陶器の色は標準色同等価格とし、監督員と協議の上決定する。		
	38 ダクト（ステンレス製除く）については、切断面の防錆処置を講じること。		
	39 紙巻器裏の補強（当板）を行うこと。		
	40 衛生器具等撤去の穴埋補修は本工事内で行う。		
	41 床、壁等コア抜きする際は鉄筋探査を必ず行い結果を書面にて報告すること。 また、コア抜き場所を図面上で確認し、建築・電気業者と必ず相談の上実施すること。 万一破損した場合は速やかに監督員へ報告し、受注者の負担で早急に原状復旧すること。		
	42 和風便器設置は全アスファルト巻きnバット仕上げとする。		
	43 給水管は気密試験、排水管は満水試験を各フロア及び全体を実施すること。		
	44 工事写真データ等は紛失に備え、記憶媒体への定期的なバックアップを2重に行うこと。		
	45 配管配線工事に伴う既存壁等のコア抜きはダイヤモンドカッターを使用すること。		
	46 冷媒管口径については参考の為、使用メーカーに対応出来る仕様とする。		
	47 文字標識等は監督員と打ち合せの上表示する。		
	48 材料の加工等は出来る限り建物外で行うこと。		
	49 機器類搬出入経路及び設置工事範囲は、養生を行うこと。		
	50 配管ルートは設計図面を基本とし、現地調査の結果を持って監督員と協議すること。		
	51 設備配管に伴う既存壁等ののはつり補修は、本工事施工のこと。（仕上げ補修共）		
	52 屋内配管の支持は全て上階コンクリートスラブ等より行うこと。天井下地には支持しないこと。		
	53 配管支持間隔は冷媒管2m以下、ドレン管1m以下とする。（一般吊り棒鋼使用）		
	54 機器までの吊り長さが1.0mを超える場合は、振れ止めを行うこと。		
	55 室内機設置については、吊元の新旧にかかわらず、室内機1台当たり最低1箇所のアンカー引張試験を行い、試験報告書及び実施写真を提出すること。		
	56 屋内配管ルート上及びエアコン室内機（壁掛型を除く）部分の天井は本工事にて取外、再取付すること。		
	57 ドレン管はV P管とし、ジャバラホースは絶対に使用しないこと。		
	58 ドレン管は適正な勾配が確保できる場合は、冷媒管化粧ケース内に納めても良い。（保温はいんべい仕様にて施工）		
	59 冷媒管のろう付け及び溶接作業は、酸化防止措置として、配管内に不活性ガスを通しながら行うこと。		
	60 冷媒管はテッ素ガス又は乾燥空気に気密試験を行い、結果を報告書として写真添付の上提出すること。		
	61 試験圧力は製造者の設計圧力以上（4MPa程度）とし、24時間放置し漏れのないことを確認し、真空引きを行うこと。		
	62 室内機・リモコンの位置は、施設管理者等に確認の上決定とする。		
	63 リモコン配線の露出立下り部分は、メタルモール内に納める。		
	64 室内機は工事完了後試運転調整を行い、良好な冷暖房運転（吹出温度、異音の有無等）を確認後引渡しとする。		
	65 工事完了後に必要のなくなる機器等は、本工事の範囲内で撤去処分すること。		
	66 室外機は、転倒防止を行うこと。		
	67 特に指示なき場合は既設配管・電源線・コンクリート製スライドルールブロック等は再使用する。		
	68 保温・防露仕様		
	給水管 地中・コンクリート内：粘着テープ（1/2重ね）2回巻き 但しH1VP、VD管・VS管は除く。 床下ビット内：ホースリフレンフォーム保温筒（20mm）＋粘着テープ＋ホースリフレンフィルム＋着色アルミガラスクロス 天井内・P S内：アルミガラス化粧化粧ホースリフレンフォーム保温筒（20mm）＋アルミガラス粘着テープ 屋内ライニング内：ワンタッチ保温筒（10mm） 屋内露出部：ホースリフレンフォーム保温筒（20mm）＋粘着テープ＋合成樹脂カバー 屋外露出部：ホースリフレンフォーム保温筒（20mm）＋粘着テープ＋ホースリフレンフィルム＋ステンレス鋼板 土間埋設部：ワンタッチ保温筒（10mm）		
	排水管 地中・コンクリート内：不要（硬質塩化ビニル管） ビット内：不要（硬質塩化ビニル管） 隠蔽部：不要（耐火二層管） 屋外露出部：不要（硬質塩化ビニル管）		
	通気管 屋内外露出部：調合ペイント2回塗りもしくはカラーV P		
	スパイラルダクト ：アルミガラス化粧化粧ガラスール保温筒（25mm）＋アルミガラス粘着テープ		
	冷媒管 ：冷媒管保温施工仕様参照		
	ドレン管 隠蔽部：保温付V P管 屋内露出部：保温付V P管 屋外露出部：調合ペイント2回塗りもしくはカラーV P		
	※その他は標準仕様書による。		
	※凍結防止ヒーター巻き部はガラスール保温とする。		

F	特記事項	<div>冷媒管保温施工仕様</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>保温の種別</th><th>施工例</th></tr><tr><td>天井内、PS内 屋外ラッキング内 その他いんべい部</td><td>1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. ビニールテープ</td><td></td></tr><tr><td>屋内露出部</td><td>1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. 塩ビ樹脂製保温化粧ケース （必要箇所をビス止め）</td><td></td></tr><tr><td>屋外露出部</td><td>1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. 塩ビ樹脂製保温化粧ケース（浮かし工法） （必要箇所をビス止め） 3. シーリング  ※1 塩ビ樹脂製保温化粧ケース又はスチール鋼板製カバー</td><td></td></tr></table> <p>○冷媒管保温厚はガス管20mm、液管10mmとする</p> <p>○制御ケーブルは保温筒へ鉄線等で固定する事（ピッチ2M）</p>					施工箇所	保温の種別	施工例	天井内、PS内 屋外ラッキング内 その他いんべい部	1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. ビニールテープ		屋内露出部	1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. 塩ビ樹脂製保温化粧ケース （必要箇所をビス止め）		屋外露出部	1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. 塩ビ樹脂製保温化粧ケース（浮かし工法） （必要箇所をビス止め） 3. シーリング  ※1 塩ビ樹脂製保温化粧ケース又はスチール鋼板製カバー																																																											
施工箇所	保温の種別	施工例																																																																										
天井内、PS内 屋外ラッキング内 その他いんべい部	1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. ビニールテープ																																																																											
屋内露出部	1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. 塩ビ樹脂製保温化粧ケース （必要箇所をビス止め）																																																																											
屋外露出部	1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. 塩ビ樹脂製保温化粧ケース（浮かし工法） （必要箇所をビス止め） 3. シーリング  ※1 塩ビ樹脂製保温化粧ケース又はスチール鋼板製カバー																																																																											
G	メーカー指定	1 主要機器材料は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修設備機材等評価名簿（最新版）による。 2 配管・継手類 J W W A及びJ I S規格メーカー 衛生器具類 T O T O L I X I L 弁類 キッツ 東洋バルブ 日邦バルブ  尚メーカーリスト及び承諾図を提出し、監督員の承諾を得ること。																																																																										
H	工事概要	1 衛生器具設備工事 ①. 図示の位置に器具表に記載の器具を設置する。 2 給水設備工事 ①. 図示の位置に新設の配管を行う。 3 排水設備工事 ①. 図示の位置に新設の配管を行う。 4 換気設備工事 ①. 図示の位置に機器表に記載の機器を設置する。 5 撤去工事 ①. 既存衛生器具、既存換気設備機器、既存給排水管・保温材を撤去する。																																																																										
凡例	<table><tr><td>給水管</td><td>——— S U</td><td>ステンレス鋼鋼管</td><td>J I S－G－3 4 4 8</td><td>拡張式</td><td>S U S 3 1 6</td><td>屋内地中部分</td></tr><tr><td>給水管</td><td>——— S U</td><td>ステンレス鋼鋼管</td><td>J I S－G－3 4 4 8</td><td>拡張式</td><td>S U S 3 0 4</td><td>地中以外の部分</td></tr><tr><td>排水管</td><td>————— V P</td><td>硬質塩化ビニル管</td><td>J I S－K－6 7 4 1（V P）</td><td></td><td></td><td>ピット・地中部分</td></tr><tr><td>排水管</td><td>————— T M P</td><td>耐火二層管</td><td></td><td>（内管V P）</td><td></td><td>上記以外</td></tr><tr><td>通気管</td><td>——— V P</td><td>硬質塩化ビニル管</td><td>J I S－K－6 7 4 1（V P）</td><td></td><td></td><td>ビット・地中部分</td></tr><tr><td>ガス管</td><td>——— G A</td><td>ガス用ポリエチレン管</td><td>J I S－K－6 7 7 4（P E）</td><td></td><td></td><td>屋内地中部分</td></tr><tr><td>ガス管</td><td>——— G A</td><td>ポリエチレン被覆鋼管</td><td>J I S－G－3 4 6 9（P L P）</td><td></td><td></td><td>上記以外</td></tr><tr><td>給湯管</td><td>——— I S U</td><td>ステンレス鋼鋼管</td><td>J I S－G－3 4 4 8</td><td>拡張式</td><td>S U S 3 0 4</td><td>地中以外の部分</td></tr><tr><td>消火管</td><td>——— X S U</td><td>ステンレス鋼鋼管</td><td>J I S－G－3 4 4 8</td><td>拡張式</td><td>S U S 3 1 6</td><td>屋内地中部分</td></tr><tr><td>消火管</td><td>——— X S U</td><td>ステンレス鋼鋼管</td><td>J I S－G－3 4 4 8</td><td>拡張式</td><td>S U S 3 0 4</td><td>地中以外の部分</td></tr></table> <p>※各図面での実線は新設、点線は既存管を示す。</p> <div><p>和便器撤去後の床補修図</p></div>						給水管	——— S U	ステンレス鋼鋼管	J I S－G－3 4 4 8	拡張式	S U S 3 1 6	屋内地中部分	給水管	——— S U	ステンレス鋼鋼管	J I S－G－3 4 4 8	拡張式	S U S 3 0 4	地中以外の部分	排水管	————— V P	硬質塩化ビニル管	J I S－K－6 7 4 1（V P）			ピット・地中部分	排水管	————— T M P	耐火二層管		（内管V P）		上記以外	通気管	——— V P	硬質塩化ビニル管	J I S－K－6 7 4 1（V P）			ビット・地中部分	ガス管	——— G A	ガス用ポリエチレン管	J I S－K－6 7 7 4（P E）			屋内地中部分	ガス管	——— G A	ポリエチレン被覆鋼管	J I S－G－3 4 6 9（P L P）			上記以外	給湯管	——— I S U	ステンレス鋼鋼管	J I S－G－3 4 4 8	拡張式	S U S 3 0 4	地中以外の部分	消火管	——— X S U	ステンレス鋼鋼管	J I S－G－3 4 4 8	拡張式	S U S 3 1 6	屋内地中部分	消火管	——— X S U	ステンレス鋼鋼管	J I S－G－3 4 4 8	拡張式	S U S 3 0 4	地中以外の部分
給水管	——— S U	ステンレス鋼鋼管	J I S－G－3 4 4 8	拡張式	S U S 3 1 6	屋内地中部分																																																																						
給水管	——— S U	ステンレス鋼鋼管	J I S－G－3 4 4 8	拡張式	S U S 3 0 4	地中以外の部分																																																																						
排水管	————— V P	硬質塩化ビニル管	J I S－K－6 7 4 1（V P）			ピット・地中部分																																																																						
排水管	————— T M P	耐火二層管		（内管V P）		上記以外																																																																						
通気管	——— V P	硬質塩化ビニル管	J I S－K－6 7 4 1（V P）			ビット・地中部分																																																																						
ガス管	——— G A	ガス用ポリエチレン管	J I S－K－6 7 7 4（P E）			屋内地中部分																																																																						
ガス管	——— G A	ポリエチレン被覆鋼管	J I S－G－3 4 6 9（P L P）			上記以外																																																																						
給湯管	——— I S U	ステンレス鋼鋼管	J I S－G－3 4 4 8	拡張式	S U S 3 0 4	地中以外の部分																																																																						
消火管	——— X S U	ステンレス鋼鋼管	J I S－G－3 4 4 8	拡張式	S U S 3 1 6	屋内地中部分																																																																						
消火管	——— X S U	ステンレス鋼鋼管	J I S－G－3 4 4 8	拡張式	S U S 3 0 4	地中以外の部分																																																																						
		承認	設計	担当	縮尺 NO SCALE 設計年月日	工事名称 東小学校校舎トイレリニューアルⅠ期（機械設備）工事 図面名称 特記仕様書（2）・凡例	M—03 No.																																																																					

衛生器具表

[illegible]

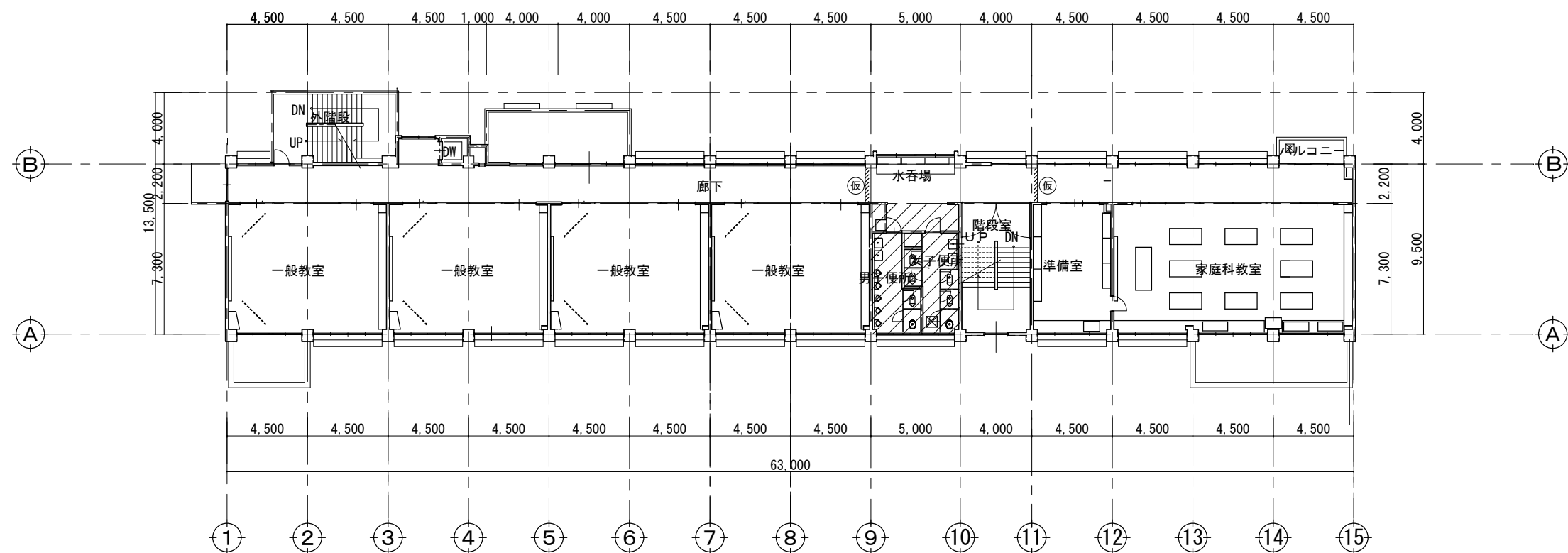
換気設備機器表	
1	換気設備機器表

[illegible]

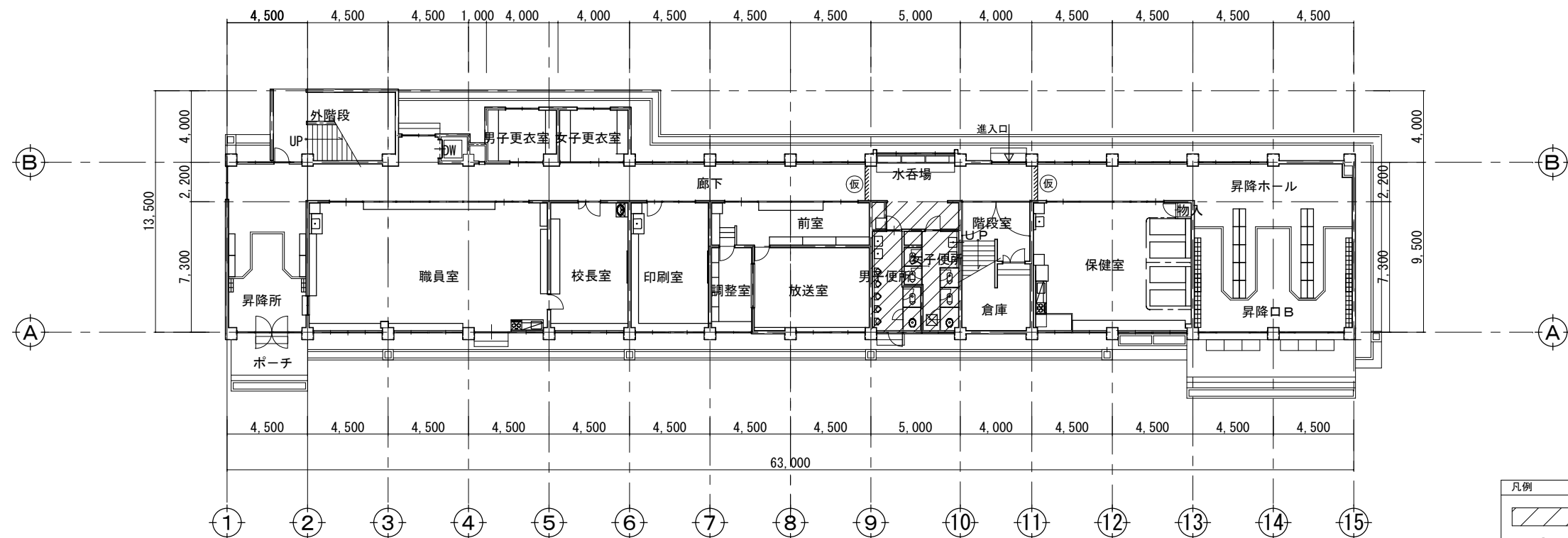
器具・機器撤去表

[illegible][illegible]



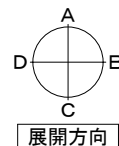


2階 平面・仮設計画図 S=1:300



1階 平面・仮設計画図 S=1:300

凡例	
	: 工事対象範囲
	: 仮設間仕切り (単管下地養生シート貼り)



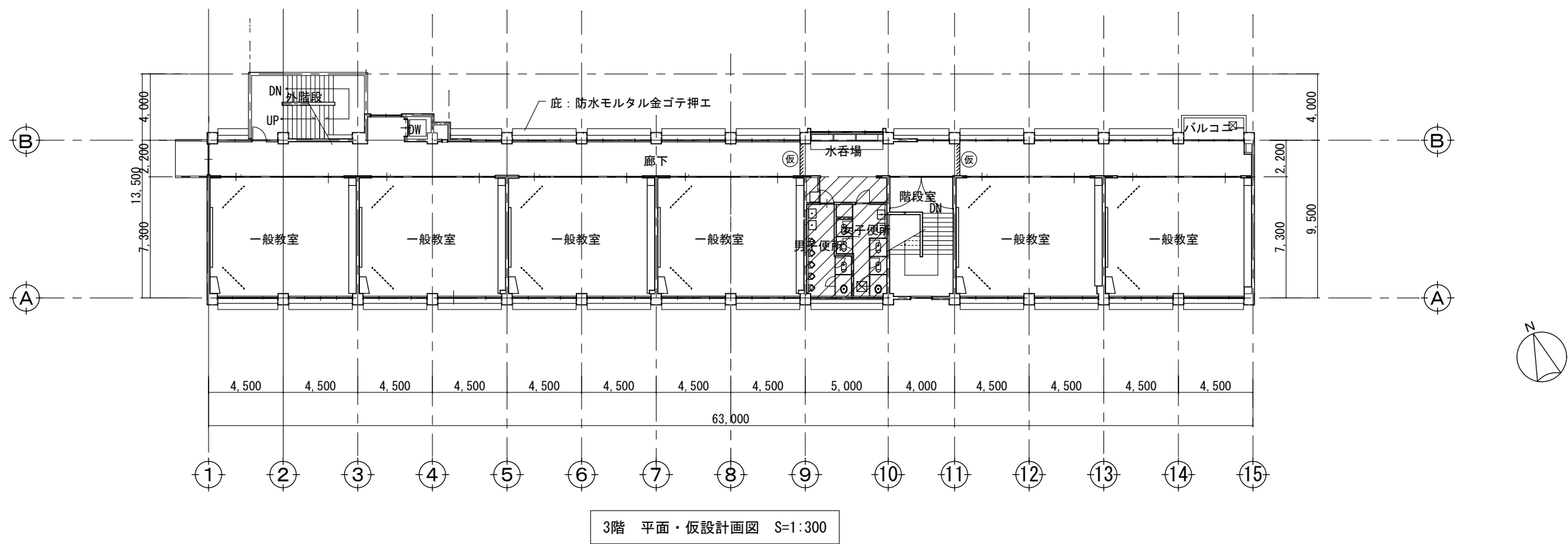
教育部 教育総室 教育施設課

承認	設計	担当

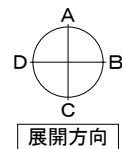
縮尺
1/300
設計年月日

工事名称 東小学校校舎トイレリニューアルⅠ期(機械設備)工事  
図面名称 1、2階平面・仮設計画図

M-06  
No.



3階 平面・仮設計画図 S=1:300



凡例	
	: 工事対象範囲
	: 仮設間仕切り (単管下地養生シート貼り)


教育部 教育総室 教育施設課

承認	設計	担当	

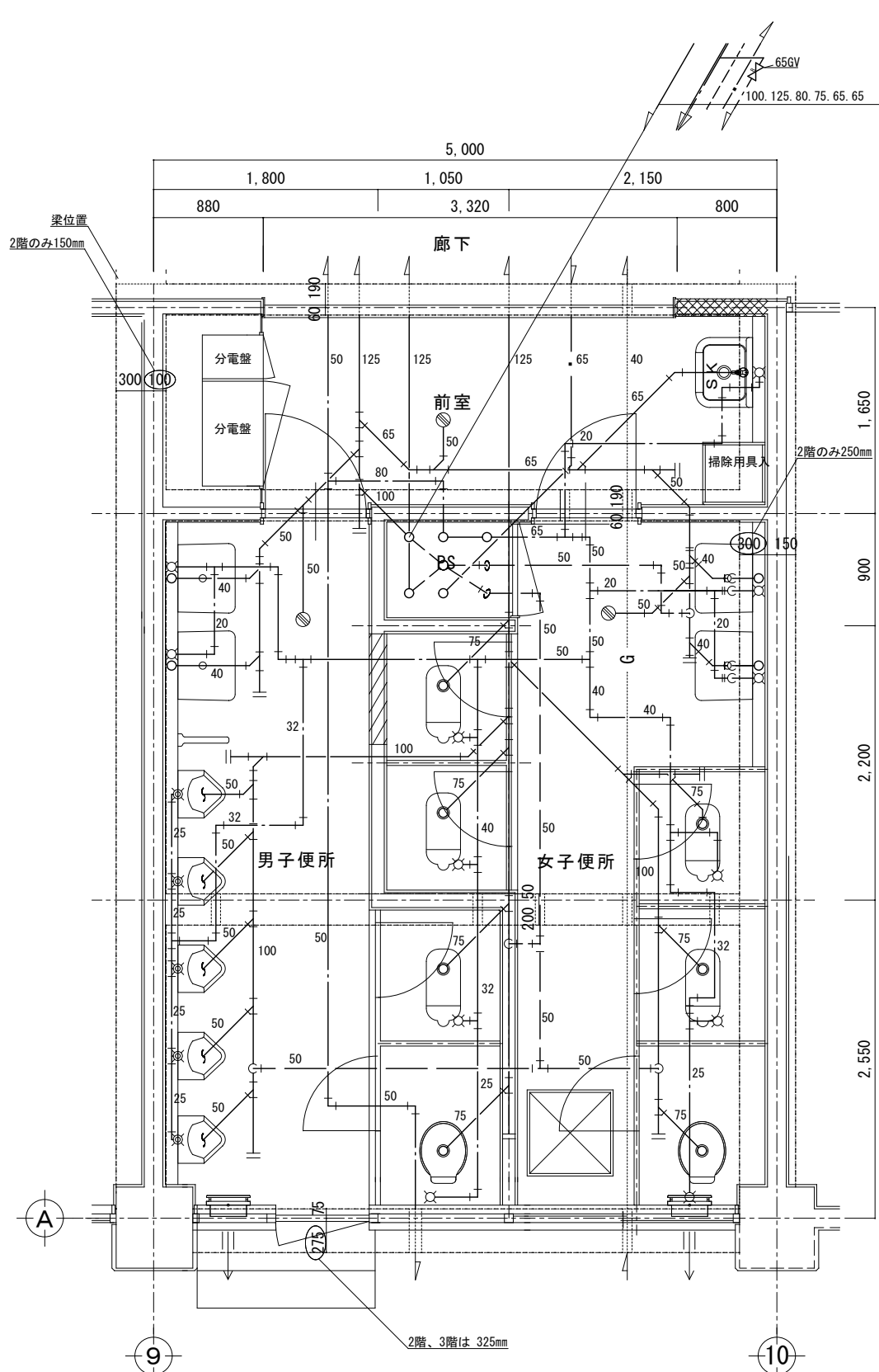
縮尺
1/300
設計年月日

工事名称 東小学校校舎トイレリニューアルⅠ期(機械設備)工事

図面名称 3階平面・仮設計画図

M-07  
No.

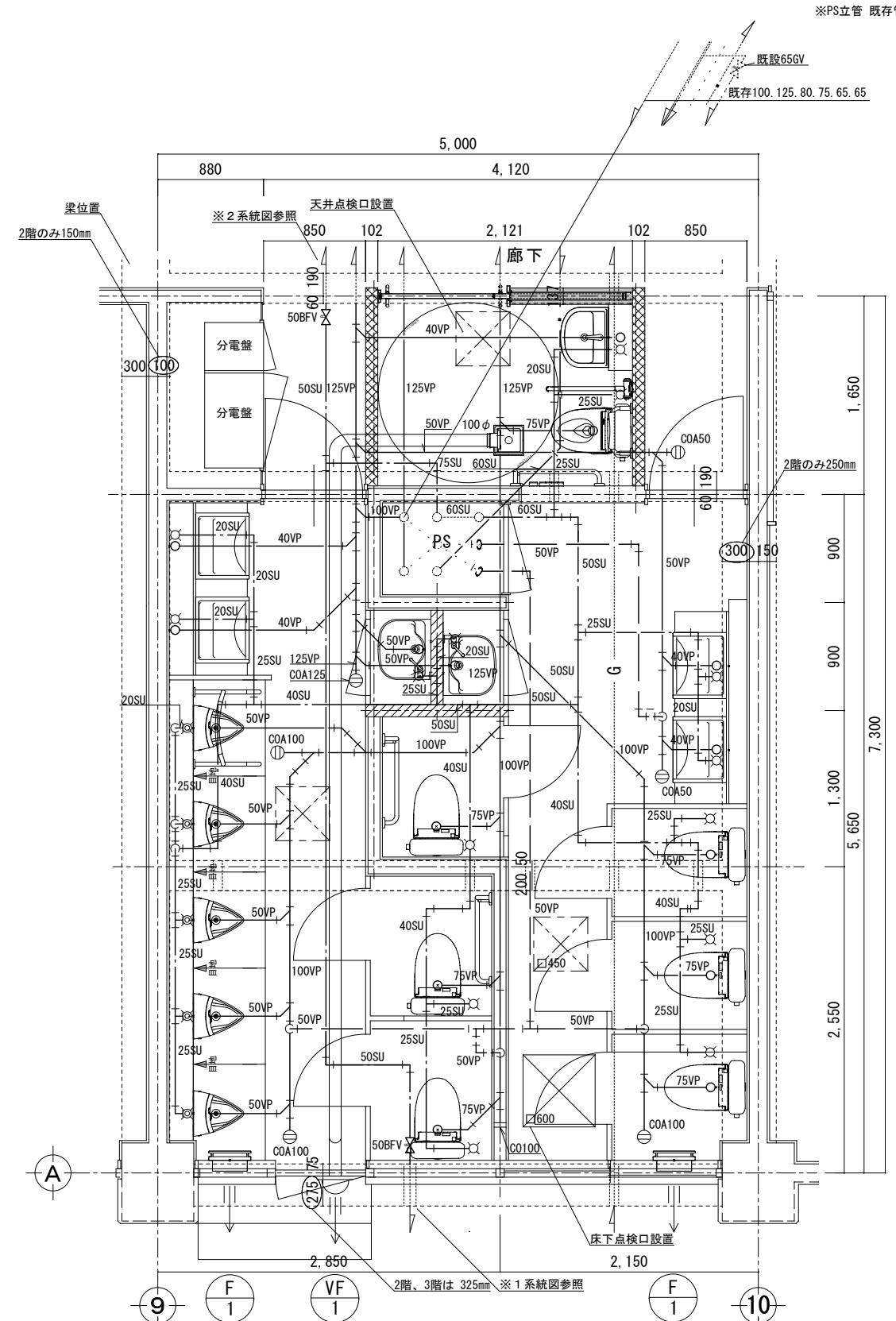




既存 1 階便所平面詳細図 S=1/50

- CB壁撤去（建築工事）
- RC壁撤去（建築工事）
- ※ 衛生設備機器撤去は機械設備工事

**特記事項**  
和便器はハツリ後、差筋アンカー施工し、モルタルにて補修を行う。  
既存配管立上部（床部分）はモルタルにて補修を行う。  
既存配管、衛生器具、天井換気扇はすべて撤去する。但し、消火管、ガス管は除く。

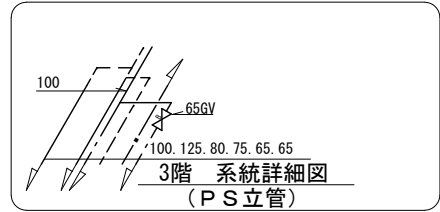


改修 1 階便所平面詳細図 S=1/50

- 新設壁：軽量鉄骨下地 W=100 下地構造用合板（特類） t=9.0 耐水石膏ボード t=9.5 ソフト吹付
- 新設壁：軽量鉄骨下地 W=65 下地構造用合板（特類） t=9.0 耐水石膏ボード t=9.5 グラスウール t=50 24kg/m<sup>3</sup> ソフト吹付
- 新設壁：軽量鉄骨下地 W=65 下地構造用合板（特類） t=9.0 耐水石膏ボード t=9.5 ソフト吹付

**特記事項**  
新規器具設置に伴う配管の立上部分はコア抜き又は、既存穴流用とする。  
コア抜きは事前に鉄筋探索を行い、鉄筋のない箇所に実施すること。  
梁を貫通する配管は既存スリーブ穴を再使用とする。  
1階床下ビット内及び天井内既存配管接続位置は参考とし、現場にて確認の上、施工のこと。  
実線の配管は新設、点線の配管は既存管再使用を示す。

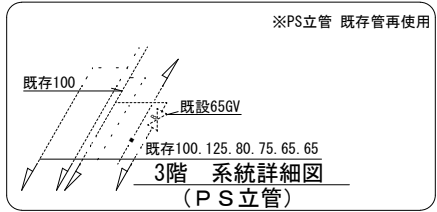
承認 設計 担当				縮 尺 1/50 設計年月日		工 事 名 称 東小学校校舎トイレリニューアルⅠ期（機械設備）工事	M-08 No.
教育部 教育総室 教育施設課						図 面 名 称 既存・改修 1 階便所平面詳細図	



## 特記事項




和便器はハツリ後、差筋アンカー施工し、モルタルにて補修を行う。  
既配管立上部（床部分）はモルタルにて補修を行う。  
既配管、衛生器具、天井換気扇はすべて撤去する。但し、消火管、ガス管は除く。

- ※ 衛生設備機器撤去は機械設備工事



特記事項

新規器具設置に伴う配管の立上部分はコア抜き又は、既存穴流用とする。  
コア抜きは事前に鉄筋探査を行い、鉄筋のない箇所に実施すること。  
梁を貫通する配管は既存スリーブ穴を再使用とする。  
1階床下ビット内及び天井内既存配管接続位置は参考とし、現場にて確認の上、施工のこと。  
実線の配管は新設、点線の配管は既存管再使用を示す。

- |   |  |
|---|--|
|  | 新設壁：軽量鉄骨下地 W=100 下地構造用合板（特類） t=9.0<br>耐水石膏ボード t=9.5 ヲf吹付                   |
|  | 新設壁：軽量鉄骨下地 W=65 下地構造用合板（特類） t=9.0<br>耐水石膏ボード t=9.5 グラスウール t=50 24kg/m ヲf吹付 |
|  | 新設壁：軽量鉄骨下地 W=65 下地構造用合板（特類） t=9.0<br>耐水石膏ボード t=9.5 ヲf吹付                    |
- ※新設壁は建築工法

